



第 164 号 令和 2 年 7 月 1 日

# 伊豆歩俱樂部会報

♪伊豆歩の歌♪ 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）  
緩歩で観歩  
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）  
歩歩笑美（ほほえみ）伊豆歩は  
歓歩で完歩

## ■第 213 回 伊豆歩俱樂部 7 月例会

夏の風物詩「ユウスゲ」ウオーキング

8Km

令和 2 年度事業計画では、7 月例会は「初夏の八丁池  
ウオーキング」でしたが、昨年の台風により通行止め  
となっています。復旧工事が行われていますがまだ通  
行できませんので、コースを変更しました。

奥石廊の池野原には、開花は 6 月下旬から始まり 8 月中旬で終わる。夕方頃（3 時～5 時）より黄色い花が咲き、翌日の午前中（9 時まで）にはしばむユウスゲが、海岸から山にかけての草原に群生している。

ユウスゲは、国立公園特別地区（富士箱根伊豆国立公園）の指定植物として全国的にも貴重なものであり、自然環境に恵まれた奥石廊で、可憐に咲くユウスゲを観賞する。

海からも、陸からも、超絶景の石廊崎を廻るコースです。石廊崎港駐車場で出発式をして、遊覧船で石廊崎岬めぐり（25 分）をする。石廊崎港から遊歩道を登り石廊崎オーシャンパーク休憩棟からガイド付きでしか行けない絶景スポット日和山、猪鼻を廻る。石廊崎灯台、石室神社と進み、石廊崎オーシャンパーク休憩棟で昼食をとり、県道 16 号線を進みユウスゲ公園展望広場でユウスゲを観賞する。“海からも、陸からも、超絶景の石廊崎を歩く” コースです。



【開催年月日】 令和 2 年 7 月 12 日（日）

【集合場所】 石廊崎港駐車場 駐車料金 乗用車 1 台 500 円

【集合時間】 9 時 45 分

【交通機関】 東海バス 伊豆急下田駅発 9：00→石廊崎港口下車 9：40→徒歩 5 分  
料金 910 円

【参加費】 会員 無料 一般参加者 500 円  
遊覧船料金 1,450 円

【出港・出発式】 出港 10:00 (25分間)、 出発式 10:40 スタート 11:00

【コース】 8Km

・石廊崎港⇒石廊崎オーシャンパーク休憩棟⇒日和山⇒猪鼻⇒石廊崎灯台⇒石室神社⇒石廊崎オーシャンパーク休憩棟 (昼食) ⇒県道 16 号線⇒ユウスゲ公園展望台⇒あいあい岬 (ゴール予定 16 時 30 分)

【問合せ】 伊豆歩倶楽部事務局 (笹本)

TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

【その他】 感染予防のためマスク着用と熱中症対策も併せてお願いします。

※ 新型コロナウイルス感染状況により、変更になる場合もあります。

## ■第214回 伊豆歩倶楽部 8月例会

城ヶ崎自然研究路コースに涼を求めて暑気払いウオーク 6km 10km

コロナ感染予防の外出自粛に応じての引き籠り生活ご苦労様でした。自粛が緩和されて暑い夏を迎えることとなります。ウォーカーにとってあまり得意ではない季節ではありますが、コロナ騒ぎの今年は特別です。7月例会に続きのウォーキングです。比較的涼しい海岸のコースをやや短めに企画しましたので奮ってご参加ください。城ヶ崎海岸コースでは、門脇のつり橋、灯台、蓮着寺が見所ですが、今は裏のコースと言えるコースで伊豆高原駅をスタートし、八幡野港から橋立のつり橋、大淀小淀、とよね、イガイガ根を経て別荘地内に入り高原駅に戻る10キロのコースです。今少し短くご希望の方は、とよねで別荘地に入れば6キロ程になります。



ゴールの後は高原の湯に浸かり、「うまいもの処」で暑気払いをと考えていますが、これはコロナ次第とさせていただきます。

【開催日】 令和2年8月30日(日)

【集合場所】 伊豆高原駅南口駐車場

【集合時間】 10時00分

【交通機関】 伊豆急伊東駅9時26分発伊豆高原駅9時51分着

伊豆急下田駅9時04分発伊豆高原駅9時49分着

【出発式・スタート】 伊豆高原駅南口駐車場 出発式10時10分、スタート10時30分

|       |   |
|-------|---|
| [参加費] | 会員 無料 一般参加者 500 円   |
| [コース] | 伊豆高原駅➡八幡野港➡橋立の吊り橋➡とよね 6 キロコース<br>折り返し➡いがいが根➡伊豆高原駅         |
| [ゴール] | 15 時 00 分予定   |
| [問合せ] | 伊豆歩倶楽部事務局 (笹本)<br>TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717 |
| [その他] | 感染予防のためマスク着用と熱中症対策も併せてお願いします。                             |

## 「平成」から「令和」へ歩いた第7次朝鮮通信使ウオーク

21 世紀の朝鮮通信使友情ウオークの会会長  
伊豆歩倶楽部会員 NO6 遠藤 靖夫

2019 年 4 月 1 日朝、ソウルの景福宮から再現行列を先頭に華々しく出発。ソウル市域を通過した正午過ぎ、隊列の後方からざわめきが起こる。「新しい年号は『れいわ』だそうだ」「えっ、どんな漢字?」「命令の令に平和の和」。そんな会話が伝わって来た。

53 日間の行程の前半が平成、後半が令和、と元号がまたぐウオークとなった。しかも新元号スタートの 5 月 1 日は交流日で終日京都に滞在。朝鮮通信使史蹟で知られている相国寺慈照院などで過



すという、不思議なめぐり合わせであった。また、第7次は12回実施を目指す、後半戦の始まりであり、朝鮮通信使のユネスコ「世界の記憶」登録(2017年10月)後、初のウオークでもあった。縁地連から託された「ユネスコ登録 感謝」の文言を染め抜いた幟旗をずっと掲げて歩いた。

さて、7回目のウオークの隊員編成だが、500キロ以上歩く「本隊員」は日本隊25人(うち在日韓国人3人)、韓国隊13人、台湾隊3人、ロシア隊1人と多国籍化へさらに踏み出した。一方、ソ



ウルー東京（2000 キロ）の全行程参加は日本 10 人、韓国 6 人の計 16 人で、過去最少人数。日本隊の平均年齢が 72 歳とさらに高齢化が進んだこともあり、7 回目を迎えて初めて今後への危機感を意識した。

半面、ユネスコ登録で各地の歓迎はいちだんと高まった。とくに韓国では子孫の会である「朝鮮通信使顕彰会（後孫会）」との交流が深まった。今回初めて忠州の後孫会メンバーが第 2 回の朝鮮通信使（1617 年）副使・朴 のお墓に招待。歓待してくれ、会長の黄裁夏さん（政治学博士）は釜山までの途中、何度もわれわれを励ましに来てくれた。



また、馬上才のふる里・氷川市の氷川郷校に招かれ、隊員全員が昔の衣装に着替えて王宮に向かってのセレモニー、門望礼を体験。さらに蔚山では 15 世紀に活躍した外交官、李芸の生誕地である石溪書院を訪問。昼食のご招待を受けた。近在に完成したばかりの高速道路の名称が「李芸区間」「朝鮮通信使区間」と 2 か所、政府によって命名されたことを知ったのもこの日だった。

そんな韓国の旅の締めくくりは在釜山日本総領事館の歓迎レセプション。2016 年末、総領事館の近くに慰安婦の少女像が立ち、日本政府は対抗措置として駐韓大使と釜山総領事を 3 カ月にわたって一時帰国させた。それから 2 年経ってはいるが、厳しい構図に変化がないなかで日韓の隊員と朝鮮通信使の関係者を招いてくれたのである。難しい局面にもかかわらず、市民交流の背中を押してくれた道上尚史総領事に感謝したい。

そんな韓国の旅の締めくくりは在釜山日本総領事館の歓迎レセプション。2016 年末、総領事館の近くに慰安婦の少女像が立ち、日本政府は対抗措置として駐韓大使と釜山総領事を 3 カ月にわたって一時帰国させた。それから 2 年経ってはいるが、厳しい構図に変化がないなかで日韓の隊員と朝鮮通信使の関係者を招いてくれたのである。難しい局面にもかかわらず、市民交流の背中を押してくれた道上尚史総領事に感謝したい。

今回、ソウルー釜山を歩いた松井貞夫隊員は元釜山総領事。第 4 次（2013 年）の東萊（釜山）ゴールの最終日、前触れもなく参加されたのが友情ウオークとの出会いであった。2 年後の第 5 次に現職総領事として初めて歓迎レセプションを企画してくれたのが今回にもつながっている。松井さんは「次の第 8 次は日本コースを歩いて全コースを踏破したい」という。実現すれば外交官出身者で初の完全踏破になる。

4 月 23 日上陸した対馬では比田勝尚喜市長や松原理事長らが出席して歓迎セレモニーがあり、日本の旅がスタートした。恒例の広島・下浦刈小児童たちとの交歓会は同校が廃校になるため、これが最後ということでひととき感慨深いものがあった。岐阜県垂井町での韓国隊ホームステイは 3 度目

とあってすっかり定着。鞆の浦では初の市民交流が実現し、名古屋では朝鮮通信使ゆかりの寺、妙善寺で町内会や檀家代表も出席して記念植樹をした。「現代朝鮮通信使あいち」の孫在福さんらの尽力だった。

第7次も沿道の自治体、大韓国民団、民間団体、ウォーキング団体等、様々な団体や市民からご支援をいただいた。

ソウルー東京のフル参加は最少記録だったが、デーリー隊を含め朝鮮通信使のコー



スを共に歩いた総参加者は過去最多の 3,792 人を記録。これで第1次来の総参加者は1万5831人となった。

## 事務局便り

### ・第8次朝鮮通信使日韓友情ウォーク「1年延期」のお知らせ

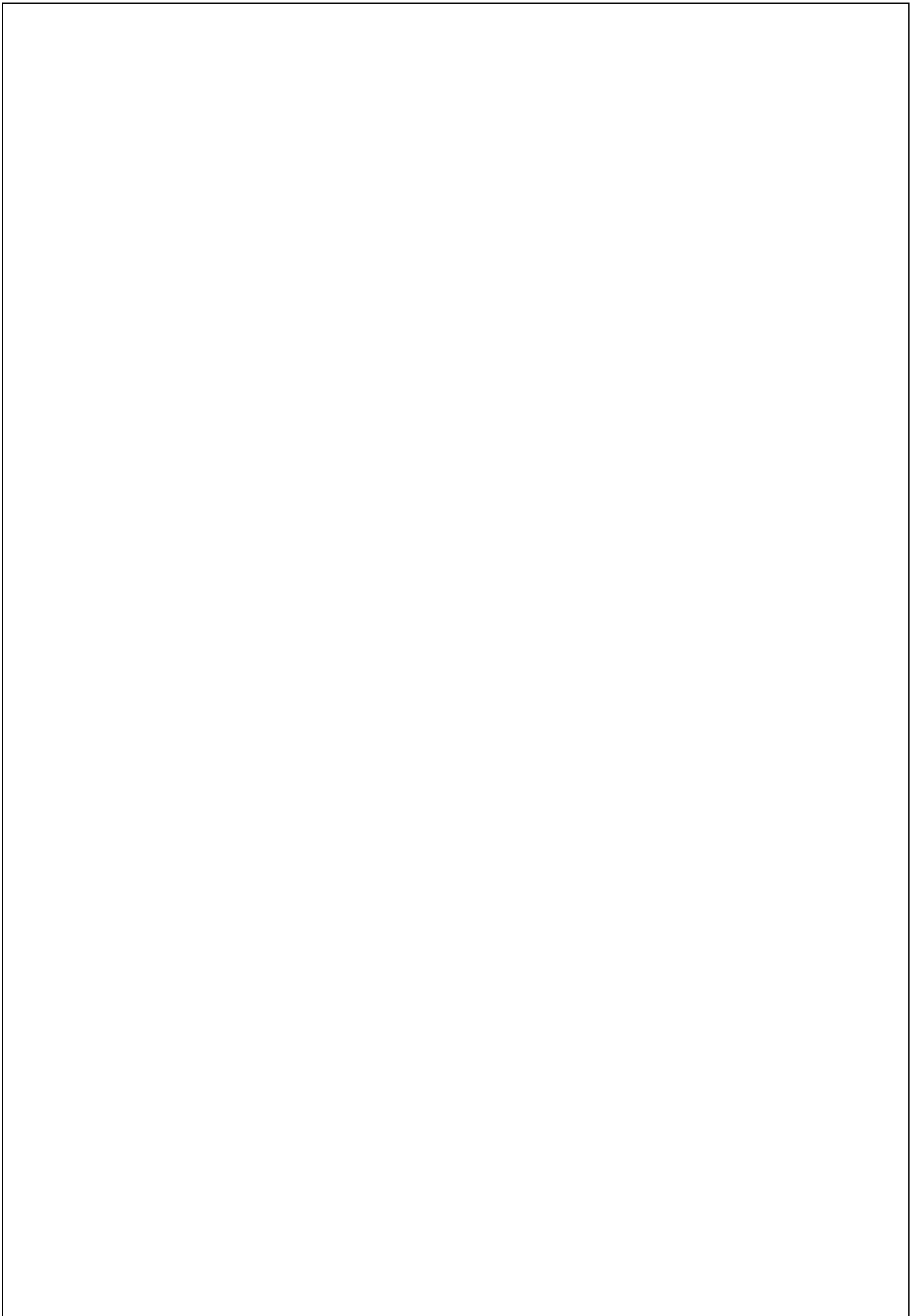
新型コロナウイルスの感染が世界中に蔓延、拡大がとまりません。来年の第8次朝鮮通信使友情ウォーク（2021年4月1日ソウル出発、5月23日東京ゴール、2,000キロを53日間かけて歩くイベント）を「1年延期」することになりました。

1年延期によって、第8次朝鮮通信使友情ウォークは2022年4月1日ソウル・景福宮出発となります。以後、2年おきの開催は従来通りです。

### ・スリーデーマーチ中止のお知らせ

埼玉県東松山市を主会場に11月1～3日に開催予定だった第43回日本スリーデーマーチ大会は、新型コロナウイルスの感染予防のため中止となりました。昨年 of 前回大会が台風19号による被害で初めて中止しており2年連続となります。

同マーチは、延べ8万人が参加する日本最大のウォーキング大会で、3日間で5～50Kmの計19コースで里山などを歩く大会です。



# 伊豆歩俳壇

用校の子と母親の花菖蒲

徳田尚志

つばくろやコロナの街に戻り来る

徳田尚志

三密の夜にほうたるの群れ飛びて

徳田尚志

七割の素びん隠すマスクかけ

清水政悦

結局は三密守り一人酒

清水政悦



ホームページアドレス <http://www.izuho-club.com>

・メールアドレス [info@izuho-club.com](mailto:info@izuho-club.com)

・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩俳壇」にも一句・・・  
皆様のご参加をお待ちしています。

※会報への投稿は、毎月20日までお願い致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。

・伊豆歩倶楽部広報 飯作 勝台

〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎85-2 TEL:0558-42-0864

携 帯:090-7675-8682

・ 発行者 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301

『伊豆歩倶楽部事務局』笹本 祀長

TEL & FAX 0558-22-5465

## ■令和2年度 伊豆歩倶楽部新規会員募集中！！

伊豆歩倶楽部に入会して伊豆の自然を満喫しながら楽しくウォーキング！仲間と歩くと心も軽く笑顔もあられます。

多くの皆様の新規ご入会をお待ち申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

日本ウォーキング協会の入会及び継続（正会員・維持会員）をご希望の方も伊豆歩倶楽部会員手続きに合わせて

手続きを行いますので、その旨をお知らせください。退会予定の方も事務局または役員までご連絡をお願いします。

詳しくは伊豆歩倶楽部事務局 笹本【0558-22-5465】までお気軽にお問い合わせください。

≪令和2年4月1日～令和3年3月31日≫

【会費】 継続会員 3,000円/年 家族会員 1,500円/年

新規会員 4,000円（入会金 1,000円 年会費 3,000円/年）

日本ウォーキング協会 正会員 10,000円/年 維持会員 2,000円/年

【納入方法】郵便振替用紙にて『記号10150通帳番号57680821 伊豆歩倶楽部』宛に納入して下さい。

※例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額をご記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡し下さい。

